

1. 授業の概要(ねらい)

前期では総論として、映像史から現代日本のアニメ誕生までを概観しました。後期では、現代日本のアニメがなぜ海外で受け入れられたのか、発展したのか、その魅力について考えます。海外の研究者の視点も参考にしながら、個々の作品から、その映像を分析していきます。

2. 授業の到達目標

本講義では、現代日本の個々のアニメーションについての基礎知識を海外の視点も踏まえ考えます。作品の内容について(作家の伝記や時代背景よりも)、作品を自律的なものとして捉え、その構造・意味・象徴性などを考えます。授業で得た知識を基に、自分自身で映像ドラマを分析する視点を持てるようにします。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(授業への出席率・参加度)50%、期末試験50%
※出席率は3分の2以上を単位の条件とします。(公欠を除く)

4. 教科書・参考文献

教科書

プリントを適宜配布。

参考文献

スーザン・J・ネイピア／神山京子訳 『現代日本のアニメ』(2002年) 中公叢書

小川昌宏／須川亜紀子編著 『アニメ研究入門』(2014年) 現代書館

横田正夫・池田宏・小出正志編 『アニメーションの事典』(2012年) 朝倉書店

5. 準備学修の内容

授業外の現代日本のアニメについても質問を受けつけます。色々なアニメに興味を持って、質問を用意しましょう。

6. その他履修上の注意事項

作品の紹介はシラバスとは多少前後(あるいは変更)することもあるので注意すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 前期のまとめとガイダンス。映像文法の基礎を知る。
- 【第2回】 『AKIRA』身体、変身、アイデンティティ①
- 【第3回】 『AKIRA』身体、変身、アイデンティティ②
- 【第4回】 『もののけ姫』ファンタジーと女性性、神話①
- 【第5回】 『もののけ姫』ファンタジーと女性性、神話②
- 【第6回】 『攻殻機動隊』テクノロジー化した身体とアニメ①
- 【第7回】 『攻殻機動隊』テクノロジー化した身体とアニメ②『アニマトリックス』日本的美意識の変化
- 【第8回】 『銀河鉄道999』少年の成長と旅立ち①
- 【第9回】 『銀河鉄道999』少年の成長と旅立ち②
- 【第10回】 『この世界の片隅に』歴史を見据えるアニメ①
- 【第11回】 『この世界の片隅に』歴史を見据えるアニメ②
- 【第12回】 『千と千尋の神隠し』カーニバルと封印の美学①
- 【第13回】 『千と千尋の神隠し』カーニバルと封印の美学②
- 【第14回】 テレビ・アニメ
- 【第15回】 総まとめとテスト。